

補助線



校長先生のSHR

10月下旬から始まった校長先生の朝のSHR。各クラス1回きりではありますが、突然の校長先生の登場にどのクラスも朝からいつもとは違う緊張感が漂います。

「人とのかかわる」ということをテーマに行われたアイスブレイク。今、そしてこれからのみなさんに必要とされるのは「ひととかかわる力」、いわゆるコミュニケーション能力。日常の些細な出来事でいい、コミュニケーションを積み重ねることで、良好な人間関係を築き上げることができる。また、自分が話すばかりではなく、聞き上手になろう。興味を持って聞く、うなずきながら聞くなど、相手が話しやすい雰囲気を作ることが大切。

こういった校長先生のお話を交えながら、みながそれぞれ熱心に、アイスブレイクに取り組みました。今回はもうすでに半年以上をともに過ごしているクラスメイトとのペアで、緊張なくうまくできたと思いますが、もともとコミュニケーションが苦手という人もたくさんいるはず。校長先生に引いていただいた補助線、これからどのように使いこなせるかはみなさん次第です。



国際理解講演会 11月1日(水)

1組 女子

社会に出て必要なことは臨機応変に対応することで、そのうえで進化・発展していけることが求められているとおっしゃっていました。自分で考えて動いた結果を、それ一回で完結させるのではなく、次の同ような機会につなげて結果を向上させることが大切だとわかりました。日本では「やってあげた」という態度はあまり受け入れられないけれど、海外ではむしろそのアピールが大切だとわかり、自分たちにとっての美德が海外に出ると裏目に出てしまうことがあるとわかり、残念に思いました。



2組 男子

最初に「今後5年間で約4分の1の仕事が変化する」と聞いて驚きました。AIによって仕事が変わることは以前から聞いていたけれど、そんなにも変わってしまうのだと怖く感じました。お話を聞いた中でこれから意識していこうと感じたことは、自分を周りにアピールしていくことです。私は自分らしさや、長所などを前面に出しきれないところがあり、いざというときに率先して動けなかったりします。これからは自分の長所を周りにアピールできるよう、自分から動くということを意識していきたいです。

相高生フォーラム 11月15日(水)

相高版「青年の主張」(今は「NHK 青春メッセージ」というタイトル)。6人の弁士が自分の思っていることを自分の声で、自然な姿で発表します。聴衆の心にいかに響かせることができるのか、「人前で話す力」「伝える力」が問われます。

1年生からは2人の勇者が出場しました。(本当は3人だったのですが、体調不良のため欠場となりました。**残念!**)入賞こそ逃しましたが、緊張のなか、2人とも立派に主張し終えました。**(見てる私もほっとした)**。それにしてもさすが2年生、堂々とした弁論は本当にあつぱれでした。脱帽です。

来年また頑張しましょう。**我こそはと思う人はぜひ立候補してください。**



1年5組 浦上大和 さん
『僕の歩んだ10年間』



1年4組 大畑文乃 さん
『低リン血症性くる病という病気について』

今後の予定

- | | |
|-------------------|----------------------|
| 12月1日(金)～期末考査7日まで | 18日(月)～保護者懇談会(三者面談) |
| 7日(木) 第1回読書会打ち合わせ | 20日(水) ナースの訪問授業(希望者) |
| 8日(金)～午前中授業③④⑤⑥ | 22日(金) 終業式・大掃除 |
| 挨拶運動3組 | |
| IHI企業訪問(5組) | |